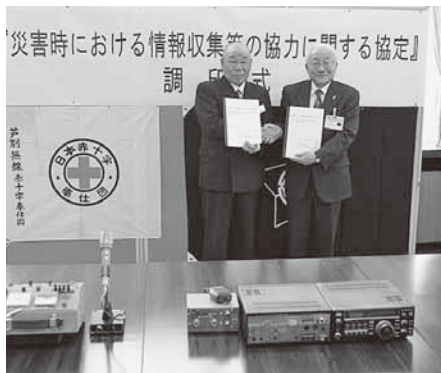


無線赤十字奉仕団と市が災害時の情報収集等の協力協定結ぶ



芦別市無線赤十字奉仕団（野崎武委員長）と芦別市による『災害時における情報収集等の協力に関する協定』の調印式が2月3日、市役所で行われました。

芦別市無線赤十字奉仕団は、12人で構成され、非常時には保有する無線器材を使い、情報収集・伝達を行います。平成7年1月に発生した阪

神・淡路大震災では、NTTなどの通信回線が壊滅した際、現地のアマチュア無線局が非常通信を実施し情報伝達に貢献した実績があります。

同協定は、災害時に市が被災地の細部の情報を把握するため、非常通信を用いた情報収集や伝達を実施、適切な応急対策と住民生活の早期安定を図るため締結しました。

小学生から社会人まで120人、迫力満点の吹奏楽合同演奏会

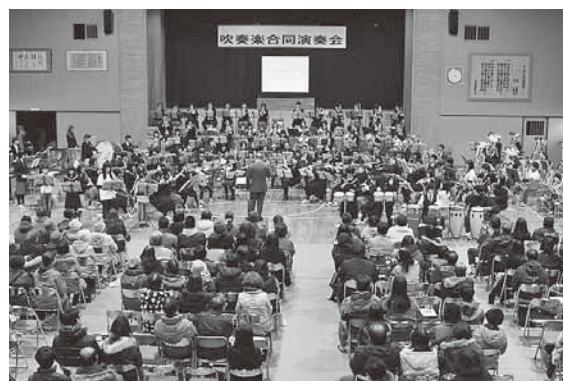
2月7日、吹奏楽合同演奏会が芦別小学校体育館で開催されました。

市内の吹奏楽団体が一堂に会する合同演奏会は、平成20年以来毎年開催され、今年で9回目。

今年は、芦別小学校スクールバンドによるアニメ主題歌などの演奏を皮切りに、芦別中学校、赤平中学校両校の吹奏楽部、芦別高校吹奏楽局、

芦別市民吹奏楽団が出演し、マーチやポップス曲を披露しました。

最後は、この日の全団体約120人がステージに勢ぞろい。札幌市から招いた大村雅浩さんの指揮により、「アフリカン・シンフォニー」を演奏し、会場に詰めかけた約200人の聴衆は、スケールの大きな迫力満点の演奏をたん能していました。



市立図書館で「映像でつづる芦別の歴史」開催される



市立図書館主催の「映像でつづる芦別の歴史」が2月11日と13日、同館で開催され、両日合わせて151人が参加しました。

今年で12回目の今回は、昭和25年2月に三笠宮様が本市を訪れた際、三井鉱山芦別鉱業所が撮影した「三笠宮様三井芦別炭鉱へお成り」と、昭和36年の上芦別営林署

森林鉄道撤去式の模様などを撮影した「芦別森林鉄道」の2本を上映。長谷山隆博星の降る里百年記念館館長が解説を行いました。

三井芦別炭鉱の記録映像では、当時の炭鉱やスキー大会をご覧になる三笠宮様が映し出され、参加者の中には、懐かしそうに映像に見入る姿も見られました。

児童センターまつり大盛況、子どもたちが楽しい一日を過ごす

2月13日、児童センターまつりが子どもセンターつばさで開催され、大勢の子どもたちでにぎわいました。

子ども同士が交流を深めて楽しむでもらおうと、毎年この時期に開催され、今年で13回目。会場内では、射的やフィッシング、ストラックアウトなど、子ども縁日風のゲーム

コーナーが各所につくられたほか、フリーマーケットも開催され、子どもたちが目を輝かせながら会場内を駆け回っていました。

最後はビンゴゲームで持ち切れないほどの景品を手にして満面の笑みを浮かべるなど、楽しい一日を過ごしていました。

